CAMPUS PRESS

長崎総合科学大学
学報

JANUARY 2020
NO. 114

contents

造大祭
　eスポーツ大会
　デジタルアートラボ2019
　造大祭シンポジウム
公開講演会
　超一流の科学者や先端企業の講話を地域へ
大学発学生ビジネスプランコンテスト
ものづくり体験
公開講座「小学校プログラミング教育必修化に向けて」
MATLABセミナー
全学Wi-Fi化
第6回トマトロボット競技会で準優勝!
新スタッフ紹介
8コーストピックス
話・題・人
　留学生紹介
附属高等学校ニュース
Information

CAMPUS PRESS
長崎総合科学大学学報 No.114　2020年(令和2年)1月
編集・発行 長崎総合科学大学 総務企画課　〒851-0193 長崎県長崎市網場町536　TEL.095-838-5131　https://nias.ac.jp/

2020(令和2)年度 入試のご案内

Information

■大学入試案内

制度 / 項目	一般入試 Ⅰ期	一般入試 Ⅱ期	一般入試 Ⅲ期	センター試験利用入試 Ⅰ期	センター試験利用入試 Ⅱ期	センター試験利用入試 Ⅲ期	AO入試 AO特待生入試
出願期間	1/8(水)▼1/31(金)必着	2/15(土)▼3/9(月)必着	3/15(日)▼3/23(月)必着	1/8(水)▼2/6(木)必着	2/15(土)▼3/11(水)必着	3/15(日)▼3/25(水)必着	9/1(日)▼3/23(月)必着
試験日	2/8(土)・2/9(日)	3/13(金)	3/25(水)	—	—	—	随 時
合格発表日	2/17(月)	3/18(水)	3/27(金)	2/17(月)	3/18(水)	3/27(金)	1/14(火)、2/17(月) 3/18(水)、3/27(金)
入試科目等 工学部 工学科 総合情報学部 総合情報学科 ※詳細は募集要項、本学HPよりご参照ください。	2科目 ◎1時間目(下記科目から1科目選択) 国語(国語総合)(近代以降の文章) 理科(物理、化学、生物) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅰ＋コミュニケーション英語Ⅱ) ◎2時間目 数学		数学および面接 ◎1時間目 数学 ◎2時間目 面接	4科目(工学部)または3科目(総合情報学部) 1. 国語(近代以降の文章) 2. 地理歴史・公民 (世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」) 3. 数学①(数Ⅰ、数Ⅰ・数A) 4. 数学②(数Ⅱ、数Ⅱ・数B、情報関係基礎) 5. 理科②(物理、化学、生物、地学) 6. 外国語(英、独、仏、中、韓)[英語はリスニングを含む]			面接(個別) 志望理由書 (出願時提出) ※600字～800字
試験場	本学、佐世保、五島 那覇、鹿児島、宮崎 大分、熊本、佐賀 福岡、松山、広島 大阪、東京	本学、鹿児島 福岡、広島 大阪、東京	本学	—	—	—	原則として本学
検定料	28,000円			13,000円			30,000円

■大学院入試案内
工学研究科 修士課程/博士課程

令和2年4月入学者(二次募集)	
願書受付期間	2/10(月)▶2/21(金)必着
学力試験(修士課程のみ)	3/3(火)
面　　接	3/4(水)
試 験 場	本学 (詳細は受付後通知)
合格発表	3/10(火) 大学院掲示板
入学検定料	30,000円

■附属高校入試案内

試験種別	特別入試 一般推薦試験	特別入試 学業推薦試験 A・B特待	特別入試 スポーツ推薦試験 一般	特別入試 スポーツ推薦試験 A・B特待	特別入試 専願試験 一般	特別入試 併願試験 一般	一次入試	二次入試
	一般						一般	一般
出願期間	12/12(木)▶1/8(水)必着						1/17(金)▶2/5(水)	3/9(月)▶3/19(木)
試験日	1/16(木)						2/7(金)	3/20(金)
会　場	本校						本校	本校
試験科目	国・英(リスニング有り)・数・集団面接						国・英(リスニング有り)・数・集団面接	国・英(リスニング無し)・数・個人面接
合格発表	1/20(月)						2/10(月)	3/20(金)
受験料	12,000円						12,000円	12,000円

学費サポート制度(特待生制度・優待生制度)

特待生 A1　授業料を全額免除(4年間)
国立大学よりも学費がかかりません

センター試験利用入試または一般入試(Ⅰ期・Ⅱ期)にて選考
対象 学力・人物の優秀な者 ※成績不良等で取り消し有

特待生 A2　授業料1/2免除(4年間)

センター試験利用入試または一般入試(Ⅰ期・Ⅱ期)にて選考
対象 学力・人物の優秀な者 ※成績不良等で取り消し有

特待生 B　授業料1/2免除(4年間)

AO特待生入試にて選考 対象 次のいずれかに該当する者 ※成績不良等で取り消し有
①高度な特技・資格を有し、それを本学で発揮しようとする者
②各種コンテストやスポーツ・文化活動等で優秀な成績を収め、本学でその能力をさらに伸ばし発揮しようとする者

外国人留学生入試(前期)にて選考
対象 日本留学試験の日本語250/400点程度。数学の成績も合わせて総合的に判定する。
※成績不良等で取り消し有

在学生の優待制度
3年生または4年生で学力および人格が優れた者に対して授業料を免除します。3年生は2年次までの成績、4年生は3年次までの成績が選考対象となります。(3年次で優待生に採用された者も、4年次には再度選考となります)

きわめる。拓く。創り出す。
NiAS 長崎総合科学大学
※NiAS(ニアス)は、大学の英文名
Nagasaki Institute of Applied Scienceの略称です。

長崎総合科学大学「Facebook」&「LINE」! 大学の様々な情報を配信しています。ぜひ、ご登録ください。
https://www.facebook.com/nias.ac.jp
@nias
SNSでも情報発信中

本学サイトにアクセスできます。

なぞときゲーム「合い言葉は〇〇〇！ 秘密の書を探せ！」

単気筒エンジン機関車

ロボット体験教室

パッションフルーツ緑のカーテンとジュース

操船シミュレーター

ハンドメイド雑貨販売

造大祭2019開催！

本学伝統の学園祭「造大祭」が11月2日(土)、11月3日(日)、グリーンヒルキャンパスを会場に開催。様々な模擬店、各コース研究室及びNiASプロジェクトの研究発表と同時に、スペシャル・マジック・ショー、留学生による日本語スピーチコンテスト及び各国民族衣装ファッションショー、音系サークルライブなど盛りだくさんの内容が展開されました。今回はその中から、eスポーツ大会、デジタルアートラボ2019、造大祭シンポジウムをご紹介します。

NHK学生ロボコン全国大会出場ロボット展示

トマト収穫ロボット展示

音系ライブ

マイコンカーラリー競技

デザイン竹灯篭の制作

デジタルアートラボ2019

今年度の造大祭では、『デジタルアートラボ2019』と題するデジタルアートの体験型イベントを開催。崔智英研究室の学生が卒業研究などに向けてそれぞれ制作している3DCGやARなどの作品を中心に、地域の子どもたちやお父さん・お母さんに体験してもらいました。ご来場くださった皆さんが楽しんでくださる姿に元気を得るだけなく、作品に対する率直なご感想が学生たちの気づきにも。卒業研究の完成に向けた追い込みに、さらなるモチベーションを与えていただきました。来年度も、ひきつづき開催する予定です。ぜひご来場を！

造大祭シンポジウム
—「今こそ問われる人財力」

マネジメント工学コースでは、造大祭において、様々な地域課題を解決するために必要な「人財」についてシンポジウムを開催しました。パネリストは、本学小嶺教授、JTB、親和銀行、長崎新聞など異業種から4名が討論しました。

人財には、激動期を生き抜く成長の源泉として『実戦力』が不可欠であり、情熱や危機感を持ち、夢や目標を設定して取組むことが大切であると熱い討論が進みました。

これからも、マネジメント工学コースでは、文理の枠を超えて英知を集結し、高度化かつ複雑化する地域課題の解決を図り、地域の多様なビジネスに関わる取組みを行います。

eスポーツ大会

eスポーツ。国体種目となり全国的に広がりを見せている新しい競技です。今年度は初の造大祭のイベントとして、国体種目である「KONAMI eFootball ウイニングイレブン2020」をタイトルとした「eスポーツNiAS大会 2019」を開催しました。イベントには長崎県出身のウイイレプロプレイヤー「ちゃまくん」選手と、茨城国体長崎県代表の「Shiro」選手がゲスト参加。巧みなMCと実況解説で大会に厚みを増してくださいました。参加者には福岡県や佐賀県など遠方からのエントリーもあり、大変盛り上がったイベントとなり、優勝チームとゲストのプロゲーマーとのエキシビジョンマッチも開催されました。

夜の造大祭ウリボウカフェ

各国民族衣装ファッションショー

焼きそば模擬店

被爆者 渡部千恵子展

ラムネ早飲み

自家焙煎コーヒー

公開講演会

超一流の科学者の講話を地域へ

三浦和夫氏

須永順子氏

黒川不二雄氏

毎年、超一流の科学者や先端企業の経営者を迎え、本学が開催する公開講演会。

この講演会は広く外部に無料で開かれた、本学の地域貢献の一つとして知られています。今年度のテーマは「サイバーリアリティ～電脳と5Gが世界を変える！～」。12月1日(日)に長崎市のサンプリエールを会場として、3つの講演で開催されました。

「プレイステーションの開発とサイバーワールド」と題した講演は、ソニー・コンピュータエンタテインメントの元取締役副社長で、現在、(株)プライムクリエイト代表取締役社長の三浦和夫氏。

23年間のプレイステーションの開発を通してコンピュータやグラフィックエンジン、さらにネットワークテクノロジーをベースにした技術とその先のサイバーワールドの可能性をご紹介いただきました。

「社会を豊かにする5G世界とクアルコムの役割」と題した講演は、クアルコムジャパン合同会社の代表社長須永順子氏。

5Gは、高速・大容量ブロードバンド、高信頼性・低遅延通信、より多くのモノがつながる大規模IoTという先進的な通信を可能にし、スマートフォンやデータ通信機器にとどまらず、あらゆる産業の基盤になる技術です。世界の無線通信の進化を実現してきたクアルコムの5G時代の取組みについて紹介していただきました。

さらに本学から「IoT時代のパワーエレクトロニクス」と題して、黒川不二雄特命・学術教授。パワーエレクトロニクス技術の結晶である電源について、インターネットからの情報を受けてエネルギーを制御したり、回路情報を送信するのに適したデジタル制御方式を通して、今後のパワーエレクトロニクスの方向性をお話しいただきました。

《近年の基調講演》

2018年
「重力波をとらえる ～日本の重力波望遠鏡KAGRA～」
東京大学宇宙線研究所 重力波観測研究施設長　大橋正健教授

「重力波源からの光をついに観測
～日本の望遠鏡群が捉えた重元素の誕生現場～」
広島大学宇宙科学センター長　川端弘治教授

2017年
「iPS細胞とは何か ―基礎研究と医療応用の最前線―」
京都大学iPS細胞研究所 未来生命科学開拓部門 教授　齊藤博英

2016年
「海の神秘と挑戦
～地球に残された未踏の海底下生命圏フロンティアに挑む～」
海洋研究開発機構 高知コア研究所 所長代理　稲垣史生

「海底ケーブルネットワーク　未来を拓く海中海底のリアルタイム観測」
海洋研究開発機構 地震津波海域観測研究開発センター
研究開発センター長代理　川口勝義

2015年
「宇宙の進化とブラックホールの謎」
理化学研究所 准主任研究員　玉川徹

「やれる理由こそが着想を生む」
宇宙航空研究開発機構(JAXA)シニアフェロー・教授
「はやぶさ」プロジェクトマネージャ　川口淳一郎

NEXT!

学生を新たなステージへ

大学発学生ビジネスプランコンテスト

机上の空論ではない実戦力を持った学生を育てたい。そんな思いを実現するために、マネジメント工学コースでは今年度より、ビジネスや経営の現場に立脚した教育をより充実させるために、考える力を意識した授業を取り入れました。その一つがビジネスプランコンテストへの参加を目的とした1年生の授業です。その授業では、グループでの議論から、大学をより良くするビジネスプランの提案を目的としました。学生のアイデアをビジネスにするための考え方や手法について、複数の企業の社長や県職員、専門知識を持った社会人などが、メンターとしてボランティアでご協力いただき各グループにアドバイスをいただきました。

その成果発表の場として、本コース主催で学内ビジネスプランコンテストを開催(7月20日、コデジマ)しました。大学主催のビジネスプランコンテストは県内大学では初めての試みであり、多くの地元企業から後援もいただきました。

大会は、授業の成果発表の部門と、本学学生全てを対象とした一般の部を設定し、計13チームがエントリーし、成果を競い合いました。授業の部のグランプリは、外国人向けの医療アプリのアイデアを発表したチームが、一般の部では、ドローンを用いた設備点検を発表したチームが獲得しました。全体的に、審査員たちが予想していたレベルをはるかに越えていたようで、一同感心しておりました。その他には、各企業賞としてそれぞれの企業から商品券や宿泊券、野菜、そうめんなどが送られました。

授業の部でグランプリを獲得したチームは、長崎県ビジネスプランコンテスト(9月23日)においても準グランプリを獲得しましたが、残念ながら、九州大学発ベンチャービジネスプランコンテストでは、本選に進むことができませんでした。学生たちは今後も引き続きプランのブラッシュアップを図り、学生のうちに起業したいと意気込んでいます。彼らはまだ1年生ですので、今後が楽しみです。

今回のビジネスプランコンテストは、大学として初めての試みであったため、関係者一同、発表内容や運営等に不安がありましたが、好評のうちに終えることができました。来年度も開催したいと考えていますので、多くの学生に参加してもらいたいと思います。

STAGE!

ものづくり体験

小学生低学年から中学生まで、多様な彩りの体験

今回で3回目を迎える小中学生を対象とした「ものづくり体験」を8月11日(山の日)に附属高校を会場にして開催しました。

今年度も、子どもたちの期待に応えられるように、4つのコース共同で開催しました。将来プログラマーを目指すプログラム体験や、スチレンボードを使った建築模型体験、簡単なゲームを作ることができる「Scratch」プログラム作成、化学反応実験など多彩な講座となりました。

本学の学生が子どもたちに教えるアンバサダーとなって教員と一緒にものづくりの楽しさを伝える事ができました。今年度は附属高校生も手伝ってくれて、一生懸命頑張って子どもたちに教えてくれました。

当日は大勢の小中学生や保護者の方にお越しいただくことができました。「来年もお願いします」や「楽しかったです」という力強い声も頂くことができました。子どもたちと一緒に取り組んでみて、改めて子どもたちの創造力のすごさを感じることができた1日となりました。

公開講座
「小学校プログラミング教育必修化に向けて」

当公開講座は、小学校にて2020年度より必修化されるプログラミング教育を担う教員を支援しようと、本学の地域貢献活動の一つとして開催されました。実際、準備内容や進め方に対して不安や悩みを抱える先生方が多いそうです。そこで当公開講座では、若手教員がプロジェクトリーダーとなって着実に準備を進めている小学校の事例を校長とプロジェクトリーダー当人に紹介していただきました。それに続く座談会では、準備を進めている他の2小学校の先生方も加えて現在抱えている課題や注意点などについて議論していただきました。また、当公開講座と併せて県内の教育関連企業の協力を頂き、プログラミング教育教材の体験コーナーも開設していただきました。なお、当公開講座は九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォームが主催する公開講演会シリーズ「みんなの学び」の一環として、本学と長崎国際大学が担当校となって開催しました。

MATLABセミナー
～概要からデータ解析、機械学習、AIによる画像解析まで～

10月25日の2限にMathWorks Japanエンジニアの沖田様を講師に迎え「MATLABセミナー ～概要からデータ解析、機械学習、AIによる画像解析まで～」を17号館で開催しました。機械工学コースと知能情報コースの講義の一環としており、60名を超える学生と一部の教員が参加し聴講しました。主な講義内容は、画像による物体の判別、機械学習とディープラーニングの違いなどが、プログラム例を挙げて紹介され、最後に大学内でMATLABを使用する場合の説明が行われました。参加者にはMATLAB経験者が少なく、実際にPCを使って例題プログラムを体験することがなかったことは残念でしたが、学生達には最先端の技術を考えるよい機会になったと思われます。

MATLAB&SIMULINK
MATLABセミナー
～概要からデータ解析、機械学習、AIによる画像解析まで～
セミナー概要
MathWorks

全学Wi-Fi化

来年度からの新入生ノートパソコン必携化に合わせて、情報科学センターでは、今年度キャンパス内のWi-Fi化を進めることになりました。教職員や学生1人1人にIDを発行し、キャンパス内どこにいても同じ認証情報でWi-Fiにつなげられます。パスワードの再設定も自分でできるので情報科学センターの受付時間外であっても問題ありません。採用したアクセスポイント(AP)は1台で100人近くが接続できる上、複数のAPが協調して動作するので建物内を移動しても切り替えがスムーズに行われます。数年かかると思っていた全学Wi-Fi化が今年度完了する見込みとなりました。ぜひ活用して下さい。

第6回トマトロボット競技会で準優勝！

12月6日から8日にかけて北九州市の学術研究都市にて第6回トマトロボット競技会が開催され、本学のNiASプロジェクトのチームが準優勝となりました。トマトロボット競技会は、一般向けのシニア部門と中高生向けのジュニア部門があり、本学からはシニア部門のフリースタイルで1チーム、レールスタイルで1チーム参加しました。

大会は年々競技レベルがあがってきており、全自動で収穫しないと勝てないようになってきています。昨年度までは遠隔操縦で参加していましたが、今年度は遠隔操縦と全自動収穫の2台体制で参加し、全自動収穫のチームが準優勝となりました。学生が遅くまで研究室で活動を続けた結果が実りました。第7回は総合優勝を目指します。

NEW-COMER
新スタッフ紹介

新たにスタッフとなった教職員を紹介します。

Ⓐ所属 Ⓑ趣味・特技 Ⓒ抱負など一言

田中 雅晴（たなか まさはる）

Ⓐ総合情報学部総合情報学科 知能情報コース
Ⓑ旅行、音楽鑑賞
Ⓒ AIの様々な分野への適用を研究しています。長総大での教育・研究に尽力したいと思います。

原田 康平（はらだ こうへい）

Ⓐ情報科学センター
Ⓑ音楽鑑賞
Ⓒ母校である本学の皆様の、学生生活を少しでも過ごしやすくできるよう尽力します。よろしくお願いします。

8コース トピックス

マネジメント工学コース

マネジメント工学コースでは、教員とゼミの学生が、長崎市北部商工会、長崎市出身イラストレーター、料理研究家、波佐見高校デザイン部と連携して、長崎市北部地域（琴海・三重・外海）の事業者と一緒に地域活性化に取組んでいます。地元素材の活用提案、レシピ開発、日・英語のパンフレットのデザイン、販売促進に参画しています。このような連携の取組みは「全国初」となります。また、国内バイヤーと海外バイヤーとの商談会をサポートしました。さらに、会員企業への補助金情報提供および申請支援サイトの開発に取組んでいます。今後は、同地域にインバウンド観光客の呼び込みを図るべく、飲食店のメニュー開発、PR、情報発信などに取組んでいきます。

医療工学コース

11月2日、3日の2日間造大祭が行われました。医療工学コースの学生も、自分が所属しているサークルやクラブ、ゼミ室などで積極的に活動をしていました。災害復興支援クラブでは五平餅とピザの販売を、2年生中心のメンバーで協力しながら行っていました。NiAS-NECEでは焼きそば・チーズボーロの販売を、2年生から4年生のメンバーが学年の壁を越えて楽しそうに行っていました。清水ゼミではフランクフルトとフライドポテトの販売を、3年生と4年生のメンバーで和気あいあいと行っていました。2日目には非常勤講師として講義を行って下さっている、松岡先生らによるダンスイベントが野外ステージで行われ、多くの人を楽しませていました。

建築学コース

9月中旬の9日間、建築学海外研修（3年生科目）を実施しました。今年度の研修は、イタリアのローマ、シエナ、ピサ、フィレンツェ、ラヴェンナ、ヴェネツィア、ミラノを総勢20名で訪れました。西洋建築史の講義で取り上げる歴史的建造物のうち、3割がイタリアにあります。また昨年度、長崎と天草の潜伏キリシタン関連遺産が世界遺産に登録されたことから、カトリック総本山のヴァチカンを訪ねたいのもイタリアを選んだ理由です。学生は、天正遣欧使節団の4人の青年と同世代です。初めて見る西洋建築に、毎日大きな驚きと発見がありました。五百年から千年以上が経過した歴史的建造物を現代都市で活かしている点も、多くの収穫がありました。

ヴァチカン、サンピエトロ大聖堂前にて

船舶工学コース

8月2日（金）、海洋教育普及イベントである「おもしろ船教室」を開催しました。当日は、海上イベントとして橘湾クルージング＆プレジャーボート操船体験、陸上イベントとしてラジコン潜水艦の操縦、操船シミュレーター体験などを実施しました。今年度は、長崎市矢上の学童保育やがみクラブの40名の小学生が参加してくれました。猛暑の中でしたが、参加した子供達からは「めちゃ楽しかった。夏休み最高の思い出になった！」等とうれしい言葉も頂きました。なお本イベントは、公益社団法人 日本船舶海洋工学会の支援を受けて実施しています。

生命環境工学コース

3年生後期の科目に「環境調節工学実験」があります。この科目では地学や農学に関連した内容が含まれ、実験データの解析の仕方を学ぶほか、実際のフィールドに出かけ講義を行うこともあります。今回のフィールドワークでは、長崎火山に由来する堆積物の露頭スケッチを行ったり、農業試験場では現場の研究員さんの直接の説明を聞き、栽培試験や実験室の様子も見学しました。

知能情報コース

12月3日の午後、静岡県立富士宮東高等学校の2年生31名が長崎での修学旅行の一環として、本学で体験教室を実施しました。1時間という限られた時間ではありましたが、3～4名1組のチームに分かれて、初めてさわるレゴのロボットの制御に挑戦し、黒線に沿ってコースを一周させようと四苦八苦していました。スタート地点にロボットをどう置くか、ほんの少し変わるだけでもその後のロボットの動きが一変し、完走したりしなかったり。同じ形をしたロボットの一挙一動に歓声をあげていました。高校生活の一大イベントである修学旅行でのいい思い出となれば幸いです。

電気電子工学コース

10月15日に3年生によるインターンシップ報告会を行いました。電気電子機器メーカーから造船所まで幅広い受け入れ先があり、発表した学生からは、仕事へのやりがいを感じることができた、大学の講義内容への理解が深まったなどの感想があり、充実していたことが伺えました。また、11月2日から3日に開催された造大祭では、ドローン部がミニドローンの製作体験を実施しました。参加した子供たちにも好評で，学生と一緒に夢中になって取り組んでいました。ドローン部では、レースへの参加や高校生向けの体験学習、さらにはドローンの制御に関する研究も行っています。

機械工学コース

機械工学コースでは造大祭で、メカライフの世界展「アナログとデジタル機械模型の展示と製作体験」と題してイベントを実施しました。その趣旨は、若年層の自動車や船舶等従来型ものづくり産業への興味の希薄化が進む中、ものづくり体験により工学系大学への進学を促進させることです。ペーパークラフト、プラモデル（昆虫・ガンプラ・飛行機・自動車）、レゴのEV3で、組み立てと操作を院生と学部生の協力のもとに体験してもらいました。多くの参加された皆様に興味をもってもらうことができました。

全国大会に出場のサッカー部

High school Information
附属高等学校ニュース

第98回全国高校サッカー選手権 長崎県大会優勝

本校サッカー部は、11月10日(日)に行われました全国高校サッカー選手権長崎県大会で、県立国見高校に2対1で勝利し、4年連続7回目の優勝をなしとげました。

全国大会での初戦は12月31日(月)に東京都の駒澤陸上競技場で福井県代表の丸岡高校と対戦し2対3で惨敗しました。たくさんの応援ありがとうございました。

令和元年度 体育祭

9月1日(日)体育祭を開催。残暑厳しい時期の開催でしたが、多数の来賓・保護者の応援のおかげで、盛り上がりのある行事になりました。

体育祭

令和元年度 文化祭

9月20日(金)文化祭を開催。長総大吹奏楽部と本校吹奏楽による合同演奏会で開幕。午後は地域の日見幼稚園の太鼓演奏や、保護者の協力による飲食店の出店で、とても充実したイベントになりました。

文化祭

話・題・人
Close-up People

本学には様々な国からの留学生の皆さんが在籍しています。
今回はお二人にお話を伺いました。

シャルマ サマルスさん

インド出身。インドのNew Horizon College of Engineering を卒業し、2019年4月に本学の別科日本語研修課程に入学。今後本学の大学院に進学希望中。

インドの大学では電気情報を学んでいました。子どものころから『ナルト』や『ワンピース』などのアニメを観てました。英語テロップでしたが日本語が分かればもっと面白いだろうなとも。城や木造建築にも魅力を感じます。直接の来日動機は日本の高度なロボット工学への憧れです。

日本人はやさしい。これまで先生と学生は学習面でのみ接する態度でしたが、ここの先生方は自分の子どものようにケアしてくださいます。故郷になかった海が広がっているのも魅力です。

大学院では電子情報学専攻で学びたいと希望しています。できればロボット工学も学びたいですね。

陳璐(チン ロ)さん

中国出身。中国の煙台南山学院を卒業し、2019年4月に本学の別科日本語研修課程に入学、同年10月に工学研究科修士課程環境計画学専攻1年に進学。

中国の大学では日本語を学んでいました。日本の戦国時代の歴史や伝統文化に興味があります。きっかけとなったのはアニメやゲームでした。ロリータファッションも好きです。

日本人はマナーがよくて服装もきちんとしていますね。長崎は他の街と違い、異文化が混在しているところが印象的。中央公民館まつりに着物着付けで参加し控室にいたのですが、横をフラダンスの皆さんが通り過ぎるなど様々な文化が共存しているのには驚きました。

現在は、大学院でマネジメント分析を学んでいます。新しい分野ですので興味深いところです。